

国際奉仕委員会アワー

●株式会社高田商店 鄭慧敏様

「私が日本に来た理由」



2017年11月に来日し、たつのに住んで5年たちました。仕事では揖保乃糸の輸出、ネット販売に携わっています。休みの日は龍野体育館で泳いだり、姫路で美味しいパンを食べ歩いたりして、毎日充実した生活を送っています。

私はごく普通の香港人で、普通の家庭で育てられて、普通の学校に通って、普通に日本が好きで日本語を勉強し、普通に日本に来ました。

ですが、皆さまがこの普通の話聞いて外国人が日本を好きになる理由を理解して、改めて日本の魅力に気づき、さらに日本の愛されポイントを増やしていただけたら嬉しいです。

では、私が日本を好きになった理由、日本に来たい思ったきっかけを小学生時代まで遡ってお話しします。

皆さまもご存知だと思いますが、日本のアニメは有名です。特に子供向けのアニメは世代に共通した思い出と言っているほど、香港を含めたアジアの子供に大きな影響を与えています。

その中に「ドラえもん」が描いた世界が私にとって日本に対する第一印象となりました。戸建ての家も、ドラえもんが寝ている押し入れも、ランドセルと私服で通学するのも、のび太君が何かあったら学校の裏山に逃げて隠れることも、香港の住宅事情、学校事情とは全然違って興味津々に見ていました。

中学に入り、私はさらに日本のテレビの虜になりました。映画、ドラマからバラエティ、見る作品の数が一気に増えました。さらにジブリ映画で幻想的な世界観に感動して、こういう作品を創り出した日本人が住んでいる国、日本に無限の可能性を感じて、日本がワンダーランドのように見えていました。

こうして私は日本に対する憧れも日々膨らんで行き、大学進学の時、日本語学科を選びました。日本語学科に進学した私は、人生で初めて日本人に会いました。大学の日本語先生でした。第一印象があまり笑わなくて、顔がちょっと怖い先生でしたが、学生のために広東語を勉強して香港人の立場から日本語の教え方を考えてくれたり、仲良くなるとよく授業で面白い話をして笑わせてくれたりします。そのおかげで毎日の授業を楽しく過ごしていました。

日本の企業文化も体験したくて、大学1年生の時にユニクロと3年生の時に一蘭ラーメンにそれぞれ2年ほどバイトしました。最初はあまりバイト経験がなく、仕事に慣れなかったですが、当時の日本人店長が丁寧に教えてくれたり、落ち込んだ時に励まされたり、日本語の練習相手までしてくれたりして、その優しさに触れてとても嬉しかったです。

もう一つの人生のターニングポイントは、大学2年に行った石川のスタディツアーです。2014年の8月、私はわくわくの気持ちで初めて日本に着陸しました。一か月間ホストファミリーのおうちに泊まらせてもらい、日本語の勉強や茶道、華道、浴衣など日本文化を体験して、兼六園を回ってカラオケして、帰ったらホストファミリーのお母さんがおいしいごはんを作ってくださって、まるでドラマで見た日本高校生の生活みたいで毎日が楽しくて夢のようでした。ホストファミリーのおうちの周りの景色もとても好きでした。風に吹かれて稲穂の波を見て、稲同士がこすれ「サササ」の音を聞いて、心がとても落ち着きました。こんなところに住めたらいいなと思いました。

私は日本の美しい風景を見て、日本人の優しさに触れて日本で生活する夢を見始めました。その夢を持ったまま私は大学を卒業し、香港で日本食品を輸入する会社に就職しました。

あの時の日本人同僚や取引先も全員優しく、よく一緒にご飯に行きました。お客さんの立場なのに、当時新社会人の私の面倒を見てくれたり、仕事を教えてくれたりしました。日本に行くか悩んでいるときにも相談にのって、後押しをしてくれました。こうやって私は仕事で日本の方との関わりが増え、日本に行く決意をしました。

そしてついに2017年8月にある食品展示会で今の上司に出会い、日本へ転職することを決めました。生まれて初めて知らない国に住むことを、当時は深く考えなかったです。とりあえず来たものの、後先を考えなかったせいで思わぬところで足をつまずくことがたくさんありました。

買い物は何がどのお店にあるのか、どの美容院がいいのか、初めて行く病院はどうやって予約するかなど、一つ一つ、全部ゼロから暮らしのインフラを作ることがとても苦労しました。言葉の壁やビザの制約もあります。でもどんな困ったこと、つらかったことがあっても、いつも会社の同僚に助けてもらい、今はほとんどの困難が解消されて快適に過ごしています。

日本に来て3年目の時くらい、ようやく慣れてきて日常を楽しめるようになってきました。一番気に入っているところは、日本の美しい四季と雨が少ない瀬戸内式気候です。香港は温帯気候で、夏は雨が多くジメジメして、冬は暖かくて半袖でも過ごせます。暑がりの私には居心地が悪かったです。しかし日本の四季ははっきりしていて、春に桜、夏に緑や花火、秋に紅葉やおいしいさんま、冬には雪や温泉、季節ごとに楽しみがたくさんあります。四季を楽しむという考えは、日本に来るまでになかったです。

もう一つ日本に来てよかったことは、生活と心が豊かになったことです。香港は人口密度が高くて、住宅は狭く値段が高い特徴があります。ですから私はずっと自分の部屋がなかったです。日本に来て初めて一人暮らしして、初めて自分の部屋ができて、好みの家具やインテリアに囲まれて自由に時間を使えて最高に楽しかったです。

こういう自由自在な生活を送ると、だんだん心の余裕ができた気がします。ストレスで気が短い性格もだいぶ丸くなりましたと、友達に言われたことがあります。しかも水泳やパン作りなど、一生続けられる趣味までできて、とても幸せに感じています。

日本に来て今年で6年目になりますが、嫌なことも、寂しい時もあるけれど、やっぱり日本が好き、日本に来てよかったと思っています。こうやって日本での生活にはすっかり慣れて、香港に帰ると逆に日本が恋しくなりますほど、もう生活の基盤は日本にあります。できればこれからも日本で生活したいと思っています。

私が日本に来た理由、それは日本が好きだからです。単なるアニメ、アイドルに惹かれたただけではなく、今まで出会った日本の方の優しさ、素敵な国民性に感動したから、日本に来る決意をしました。だから私も、誰かにとって優しい人、日本に行きたいと思わせる存在になりたいですし、皆さんも、そういう風に意識していただけたら嬉しいです。